

Architect's Gallery

わたしのフォトメモ——街並み編 | 小嶋一浩 | Kazuhiro Kojima



実在するフィクション

マグリットのアンリアルな絵画に描かれた風景に、これまで何度も世界のあちこちで出会ってきた。

手前が夜で、室内に明かりが灯る家のシルエットの向こうに青空が広がる情景には

中南部フランスで何度も出会ったが、まあそんなにびっくりしない。

岩山が鳥のシルエットとして現れる「アルンハイムの領地」^[1]には、

なんとタジキスタンのコログ(アフガニスタン国境の街)の月夜に出会うことになった。

「ピレネーの城」^[2]は、ローマからそう遠くないカルカータで

木々に覆われた山の間に着地寸前で浮かんでいるようだった。

撮影:1992年 | 1——原題「Le domaine d'Amheim」1962 | 2——原題「Le château des Pyrénées」1959

こじまかずひろ——建築家

1958年生まれ。1984年、東京大学大学院修士課程修了。1986年、同大学大学院博士課程在学中にシーラカンス(後のC+A、2005年、CAatに改組)を共同設立。

現在、CAatパートナー、東京理科大学教授、京都工芸繊維大学客員教授。

主な作品: ヒムロハウス[2002]、東京大学先端科学技術研究センターIII-1[2003]、スペースブロックハノイモデル[2003]、リベラル・アーツ&サイエンス・カレッジ[2004]、Ota House Museum[2004]、千葉市立美浜打瀬小学校[2006]、Grains Shimomeguro[2007]など。

主な著書:「PLOT02 小嶋一浩 建築のプロセス」[A.D.A.EDITA Tokyo/2002]、「CULTIVATE」[共著、TOTO出版/2007]など。